

可茂会後援会報

第29号

2021.12.25

発行

社会福祉法人
可茂会後援会
可児市瀬田1648-9
発行者 加藤 政博
TEL 0574-64-3366

話を聞く力

可茂会後援会会長 加藤 政博



後援会員の皆様には、日頃からご支援ご協力を頂き心よりお礼申し上げます。

今年も、昨年に引き続きコロナ感染症対策により我慢の生活を余儀なくされた1年でしたが、東京オリンピック・パラリンピックを始め、この秋には、衆議院総選挙も実施された年でもありました。一方、可茂学園では、7月に長谷川園長から山口園長へ交代されました。

まずはともあれ、コロナ禍の中で閉塞感の強い時期に学園にお世話になっていらっしゃる者として、利用者並びに職員の皆さん、それから保護者の皆様方の心と身体の健康を祈るばかりです。幸い、可茂学園では、昨年以降、職員の皆さんや関係者のご努力、さらには保護者の皆様のご協力により、適切な対策が講じられ、7月には、新型コロナウイルススワクチンの予防接種

も2回目を全員終了したこともあって、クラスターなど大きなトラブルは発生していない状況です。これまでのご苦労、ご努力に對し心から感謝申し上げます。

このところ、コロナ新規感染者は減少傾向にあり、様々な規制が緩和されていますが、長期に渡る自粛生活で、私たちは心身ともかなり疲弊しています。特に、コロナ禍で人との会話や運動をする機会が減っており、様々な悩みを抱え込んで一人で苦しんでいる人が増えていると言われています。

そんな中、岸田新首相は、総裁選の際に「一人の話を聞くことが特技」と自ら言われましたが、言葉通りコロナで疲弊した日本の社会、人々の話を丁寧に聞いて、国民にとってより良い政策が実施されることを期待したいと思えます。そして、学園も山口園長が就任され、事務室や園長室への出入りも自由に解放されていますので「学園内での話をよく聞いたたり、観たり」して頂きながら、園長ご

自身の言葉にもあるように「より明るく楽しい学園」となるよう、難しい時代ではありますが、ご尽力頂きたいと思っています。

さて、令和3年度の後援会活動につきましては、昨年度同様、殆どの事業が中止となり、学園への支援やチャリティー活動などが十分出来ませんでした。

そのような状況の中、今年も「後援会として何か出来る事はなにか」との思いから、関係役員の方にご相談させて頂き、11月にコロナ感染予防対策として、玄関入り口に「殺菌灯付スリッパロッカー」を寄贈させて頂きましたので、ご報告をさせて頂きます。

昨春以降、この2年近くの間、後援会役員の方々はもとより、会員の皆様方とお話をする機会が極端に少なくなっていました。

来年こそは、コロナ感染拡大が収束し、後援会としても、様々な場を通じて「ご意見やご要望をお聞き出来る」ようになればと思っています。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

以上

花と緑とからくり時計の 可茂学園

2021年を振り返って

施設長 山口 和己



可茂会後援会会員の皆様におかれましては、法人が運営をいたしております可

茂学園、麦の丘、三ツ池ホームの事業運営に對しまして、格別なるご理解とご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

2021年も残すところ僅かとなりました。1年を振り返ってみますと、やはり新型コロナウイルスの猛威により、世界中で多くの命が失われ、日常生活までもが奪われてしまったことでしょうか。我が日本においても例外ではなく、落ち着くかと思えば裏切られ、感染の波は第5波を数えるに至り、一部の都市や地方においては医療崩壊とも言える極限状況に陥りました。

そして、あのブエノスアイレスでの歓喜に沸いたオリンピック・パラリンピックの東京開催決定。その「東京2020」が苦渋の決

断により翌年である今年に延期されたものの、東京自体がコロナ禍の真つただ中にあり、開催が中止か世論を二分する事態ともなりました。開催が決まると今度は無観客の有観客かの論争となり、最後の最後まで新型コロナウイルスに振り回されました。

当可茂学園におきましても、年度始めから秋口あたりまでは感染の拡大は収束を見せないだろうと例年行っていた様々な行事の中止を早々と決定せざるを得ませんでした。後援会、保護者会の事業・行事も同様の事態となりました。

このような事態に陥ったものの、学園では支援員及び利用者さんのアイデアを出し合つて、みんながストレスを溜めない工夫をしながら学園生活を維持してきました。オリジナルの応援旗を作成してオリンピック・パラリンピックの日本の選手を応援したり、みんなが大好きなあるいは特別なお店からテイクアウトをして、豪華な食事を幾度か行つたりもしました。

入所利用者の皆さんにおいては、感染が収まり切らない状況の中でも夏の長期帰宅を断行し、途切れながらも可能と思われる限り帰宅外泊を行いました。保護者の方々の絶大なご理解ご協力のおかげをもって感染者を出さず、乗り切る事が出来ました。

私などのような年配の者は、感染を避けるのに外出を控え、家に閉じこもっている事はさほど大変な事では無いのですが、活動的な若い職員たちが、強い自覚を持って、当学園にウイルスを持ち込まない努力をしてくれたことがとてもありがたく、感謝に堪えません。

新種の変異株の出現等まだまだ長いトンネルの出口は見えてきませんが、何としても、この可茂学園に集う利用者の皆さんを職員一丸となってウイルスの脅威から守つて参りたいと改めて決意するものです。

最後になりましたが、社会福祉法人可茂会は、後援会の会員皆様のご支援ご協力をいただきながらよりよい施設を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

資源回収報告

資源回収は、皆様のご協力をいただき実施しております。引き続き、よろしくお願ひします。

令和3年12月1日現在
(単位：円)

実施日	3月3日	6月15日	合計
売上	3,740	5,260	9,000
可児市奨励金		2,760	2,760
合計	3,740	8,020	11,760

【回収品目】 アルミ缶、段ボール、新聞紙、雑誌
※スチール缶、ペットボトル、ビンは回収していません。

環境整備(草刈り)をしました

後援会の委託業務で、川辺町シルバー人材センターの皆さんに斜面の草刈りを年3回行っていただきました。



[10月14日撮影]

採火式が開催されました

8月20日夜、東京2020パラリンピック聖火リレーの集火式が東京で開催されました。

聖火は、都道府県内の各地の炎がまとめられ一つになったもので、可児市においては、子育て健康プラザ（マーノ）において8月13日に採火式が開催され、可茂学園から石原さんが参加されました。



[マーノ採火式の様子]

もちつき

昨年中止となりました「もちつき」、今年は新型コロナウイルス感染症予防対策をしっかりとって利用者と職員だけで行われました。



令和二年度
社会福祉法人可茂会後援会決算書

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 会費	1,570,000	1,485,000	-85,000	
特別会員	90,000	120,000	30,000	30,000円×4口
正会員	1,200,000	1,120,000	-80,000	10,000円×112口
育成会員	180,000	168,000	-12,000	3,000円×56口
賛助会員	100,000	77,000	-23,000	1,000円×77口
2. 雑収入	61,000	26,593	-34,407	バザーの売上等、資源回収、補助金等
3. 前期繰越金	371,040	371,040	0	
合計	2,002,040	1,882,633	-119,407	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 会議費	20,000	1,320	-18,680	弁当代等
2. 事務費	500,000	542,970	42,970	
通信費	10,000	5,444	-4,556	切手代
印刷製本費	100,000	102,410	2,410	会報印刷代
事務消耗品費	20,000	1,740	-18,260	コピー用紙
施設整備費	370,000	370,000	0	草刈り業務委託
雑費	0	63,376	63,376	特茶・OS1差入れ
3. 振込手数料	3,000	2,638	-362	郵便振替手数料
4. 積立金	1,479,040	1,000,000	-479,040	施設整備積立金
5. 次期繰越金	0	335,705	335,705	
合計	2,002,040	1,882,633	-119,407	

収入総額 1,882,633円
 支出総額 1,546,928円
 収支差額 335,705円 (次期繰越)

可茂会後援会にご加入を

年間会費

特別会員	—	—	—
正会員	□	□	□
育成会員	—	—	—
賛助会員	□	□	□

— 三万円
— 一万円
— 三千元
— 一千元

可茂学園施設整備資金確保のために、新会員の加入をお勧めください。

可茂会後援会事務局
TEL 六四・二三六六

監査報告書

令和2年度の可茂会後援会決算について監査の結果、その収支は正確に処理され、また証拠書類も整備されています。よって適正であることを認め報告いたします。

令和3年4月1日

監事 前島宗直 (印)

社会福祉法人可茂会後援会
 会長 加藤 政博 殿

梅田孝子 (印)

特別会計報告書 施設設備積立金

(単位：円)

	収入	支出	残高
平成26年度積立金 (郵便局定額預金)	1,000,000		7,702,000
平成27年度積立金 (郵便局定額預金)	1,000,000		8,702,000
平成28年度積立金 (郵便局定額預金)	1,000,000		9,702,000
平成29年度積立金 (郵便局定額預金)	1,000,000		10,702,000
平成30年度積立金 (郵便局定額預金)	1,000,000		11,702,000
可茂学園テレビ2台寄付 (令和2.2.10)		440,000	11,262,000
令和元年度積立金 (郵便局定額預金)	1,000,000		12,262,000
可茂学園テレビ1台寄付 (令和2.11.27)		100,000	12,162,000
令和2年度積立金 (めぐみの農協)	1,000,000		13,162,000

会 長 加藤 政博
 副 会 長 安 江 剛 生
 理 事 加 藤 敏 明
 理 事 道 家 高 史
 理 事 伊 賀 光 邦
 理 事 栗 畑 直 喜
 監 事 前 島 宗 直
 監 事 梅 田 實 美
 事 務 局 川 合 哲 也

令和二年度
可茂会後援会役員



令和三年度

後援会員名簿

＝敬称略＝

特別会員

二〇〇 吉田整備(株)

エース薬局広見店

(株)三宅設計

広和自動車(株)

正会員

三〇〇 長瀬 邦夫

加藤 政博

二〇〇 山本 孝盛

揖斐 好久

前島 宗直

村瀬 正樹

二〇〇 (有)フエニックス

宮川 春子

ミズノ観光(株)

小境電気工事(株)

(有)中部プロパン瓦斯商会

(株)新興設備

(株)ジエイアイシーセントラル岐阜

可児市建設業協同組合

(株)セイコー

日本ゼネラルフード(株)

岐阜防災(株)

千賀石油(株)

菅井 省一

藤村 恒行

小川 裕一

可児 薫

後藤 邦久

高木 武典

森 鉄雄

山田十九夫

栗畑 直喜

齊藤 道夫

.....

育成会員

二〇〇 加藤 孝子

山田多美恵

栗畑 澄子

齊藤みはる

長尾 和子

堀田 泰史

奥田 智恵

栗畑 靖紀

加藤あゆみ

谷口 里子

川村 雅哉

藤野三津子

栗畑千代美

加藤 幸子

遠藤八重子

山口 和己

堀 智子

眞鍋 泰司

石原 福美

中西 敦子

中原 健二

小川 和則

道家 義昭

鈴木 広行

花井 一彦

可児 幸子

朝日 誠一

菅谷 ゆか

曾木登美子

高村 峰子

佐々 立夫

長谷川伸二

渡辺須磨子

河合 透

柘植 和廣

藤田 秀子

荻山百合子

寶亀 久代

大崎 俊昭

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

二〇〇

賛助会員

二五〇

二〇〇

尾関 友香	飯島 明美	中村なのは	永瀬 和子	兼子 雅代	市橋 香奈	平林なつみ	井戸 駿介	原 和也	和田 雄樹	加藤 拓男	渡辺 浩英	佐々美佐子
千田優之介	塩谷 志保	伊藤 和代	山口祐実奈	前島恵津子	永井 香帆	松原 裕子	平林 耕生	加納 学	川合 哲也	瀧野 久也	小栗 意夫	鈴木かなえ
武藤 行子	川合圭伊子	安田有里菜	平手 志歩	小嶋ゆづこ	金城里佳子	丸山 雅	山口 遼	高橋 将也	伊藤 博人	伊藤 克人	宮川 隆	

(令和三年十一月末日現在)

❄️❄️ 除菌灯付スリッパロッカーを寄贈しました ❄️❄️

新型コロナウイルスへの感染は、ウイルスを含む飛沫が口、鼻や眼などの粘膜に触れること、または、ウイルスがついた手指で口、鼻や眼の粘膜に触れることで起こります。

このため、飛沫を吸い込まないように人との距離を確保し、会話時にマスクを着用し、手指のウイルスは洗い流すことが大切です。さらに、身の回りのモノを消毒することで、手指につくウイルスを減らすことが期待できるとされています。

そこで、更なる感染防止に役立ててもらおうと、後援会として除菌灯付スリッパロッカー1台を寄贈しました。

15分で除菌が完了します（タイマー内蔵型）



殺菌灯付スリッパロッカー



一度に20足除菌できます

殺菌灯付スリッパロッカー



来園された方に、安心してスリッパをお出しすることができます。

ありがとうございました。

（学園一同）